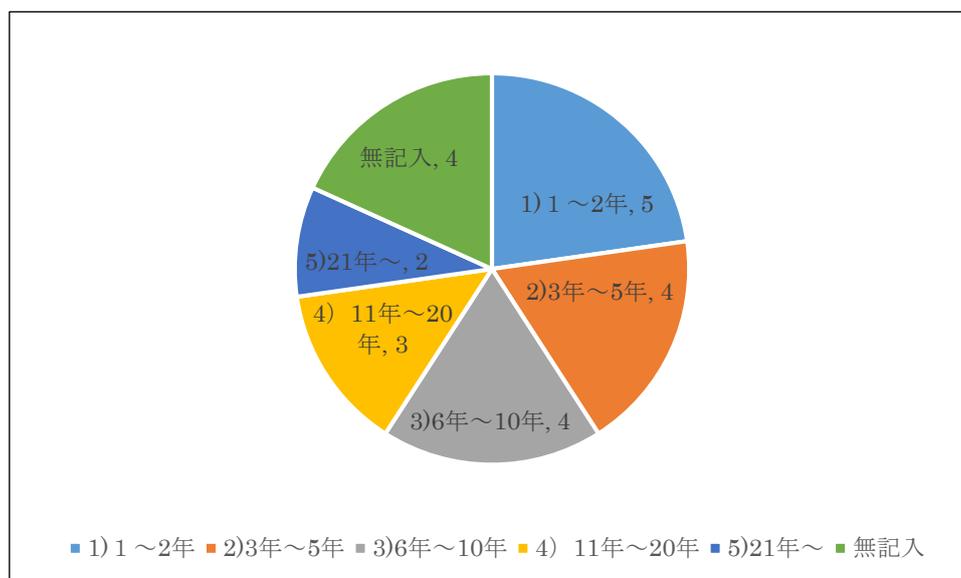


平成 28 年度公立大学協会図書館協議会中国四国地区協議会研修会 参加者アンケート結果報告書

『広報力が図書館を変える－図書館員のための PR 実践講座－』

- 1 日時 2016 年 10 月 7 日（金）13：00～16：35
- 2 主催 公立大学協会図書館協議会中国四国地区協議会
- 3 後援 中国四国地区大学図書館協議会
愛媛地区大学図書館協議会
- 4 会場 愛媛大学中央図書館 4 階 視聴覚室
- 5 対象 大学図書館職員、公共図書館職員、学校図書館職員、専門図書館職員等
- 6 内容 基調講演、ワークショップ
講師：仁上幸治 氏（図書館サービス計画研究所代表）
- 7 参加者数 25 名（大学図書館 17 名（内協議会加盟館 11 名）、公共図書館 8 名）
- 8 回答者数 22 名（回答率 88%）

回答者の図書館勤務経験

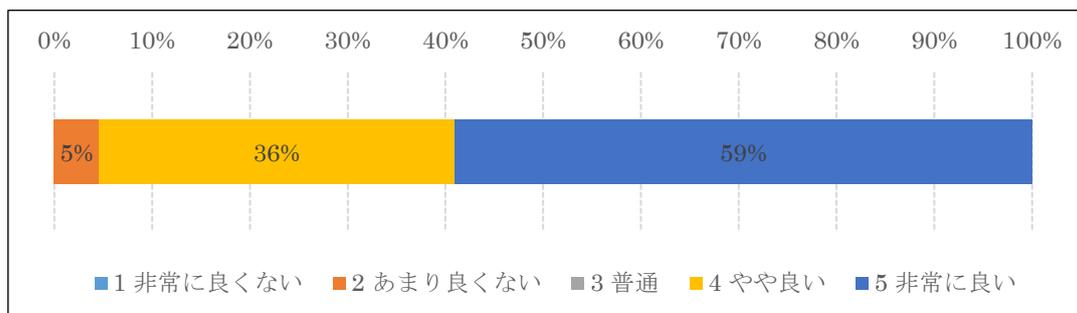


研修会用 HP:<http://www.epu.ac.jp/library/topics/2016/08/28-1.html>

【1】講演（講師：仁上幸治 氏）について

Q1. 今回の講演はいかがでしたか？

(満足度評価：5 点満点)・・・平均 4.50

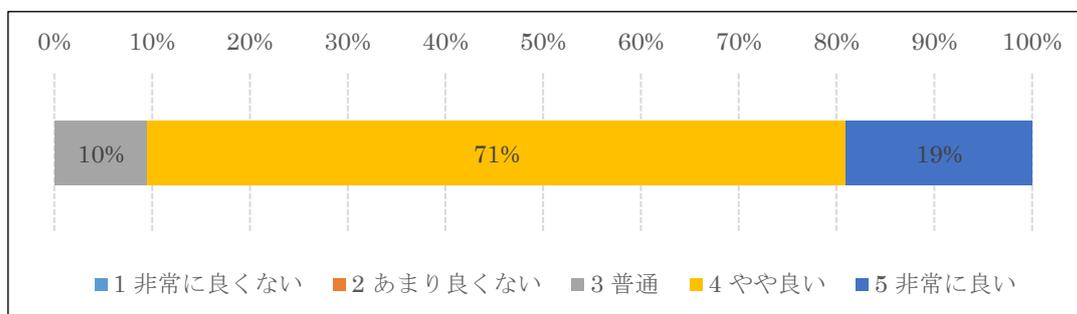


Q1. 印象を一言で

- やる
- 不出来な点がおっしゃるとおりなので勉強になりました。
- パワフル
- アクティブ、実は紳士的な方では？
- 勢いがあって吸い込まれる。
- 熱気
- 変革（考えが変わりました）
- とても素晴らしかった。良い意味で期待を裏切られた。
- 確かに「できない」と言っていたことは多かったかもしれません。何でも参考になるのだなあと思いました。数字の力は大きい。
- 自分から発信していくことの大切さを実感した。
- 「広報担当」なのですが広報について研修に参加したことがありませんでしたので、とても新鮮な研修でした。
- エネルギーで分かりやすい講演だった。
- 知人が多勢登場していました（笑）。
- 大変面白く前向きになれた。
- 楽しい研修でした。
- 先生が元気！！
- 目からウロコ！！司書としてあたりまえの知識ですら、はっとさせられるような講演でした。
- 講演自体はよく理解できなかった。せつかく自前アンケートがあったので、それをもう少し話して欲しかった。他大学の意見を聞きたかった。
- 自分でヒントを見つける研修
- 仁上先生の講演も、たくさんDPを作成していただいたのに、全部見ることは、お話を聞くことができなくて少し残念でした。1日研修でもよかったですと思います。

Q2. 自館（自分）でも是非取り入れてみたい改善策のヒントがありましたか？

(満足度評価：5 点満点)・・・平均 4.10



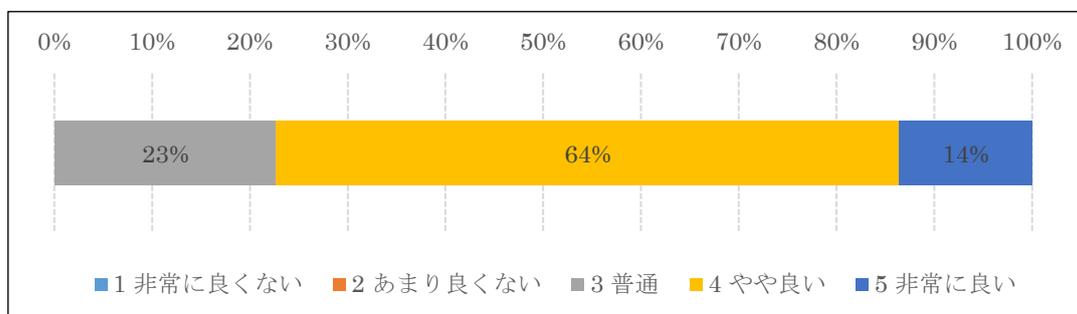
Q2. 具体的に

- 日常使っている言葉について再度見直したいと思いました。
- 用語の見直し
- 他館の蔵書を借り、展示する。
- 既に意識しているが、ポスターや掲示物の見やすさを大事にしている。
- まずはデザインの統一から。
- まずは名刺から作ってみようかと思えます。館内サインは少し難しいかもしれません。
- 意識を変えること
- 「PR以前の問題」の見直しを行う。
- 安全な方法をとるばかりでなく、大胆な切り口も必要だと知った。
- 静から動へ、意見を言うことから始めたい。
- ネットワークをつくること。利用者に見やすいわかりやすい表示をつくること。
- オリジナリティを生かしたブランディングを取り入れたい。
- 図書館用語の見直しは検討したいです。
- 自分のグループのプロジェクトをできたら実現にもっていきたい。
- 名刺を持っていない職員が多いので、まずはそこから始めたい。
- メーリングリスト。チラシのデザインを見直してみる（伝わりやすい文か見やすいか）。
- 今回のワークショップで学んだ地域とのつながりの方法を参考にして、大学図書館を超えた広がりを目指したい。
- 保育所。図書館に保育所よりも大学に保育所で、大学の職員が利用できる（する）保育所が欲しいと切実に思いました。
- 話し合いの時間を短くすることで勢いが生まれる。
- 自分ひとりでかかえ込んでいると気づきました。ただそれを改善するにはマンパワーの問題解決がネックです。

Q3. 現実的な困難を乗り越えて積極的に実践してみようという気持ちになりま

したか？

(満足度評価：5 点満点)・・・平均 3.91

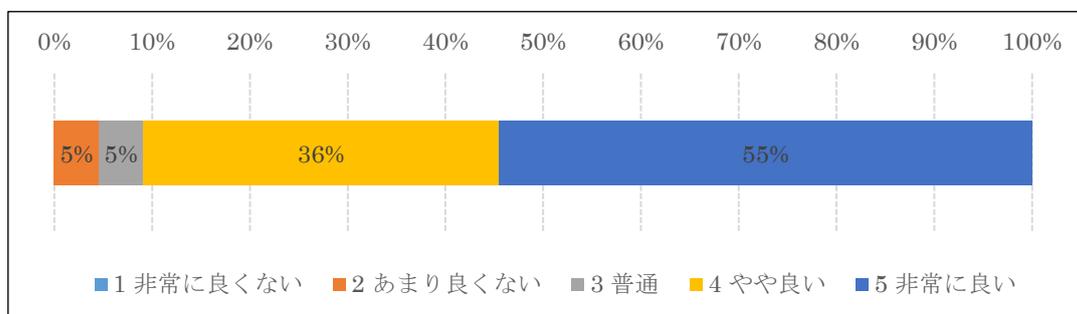


Q3. その理由

- メーリングリストはできそう。
- 発想の転換が大事だと分かった。
- 直接話し合うことで問題は解決できる。
- 何事も前向きに進めていけば何とかなるという気持ちになった。
- 小さなことからやったらいいかと思えたので。
- 少しずつなら、何とかなるかもしれないと。
- ワークショップを終えて、マイナスな思考よりチャレンジすることが大事なことだと考えました。
- 挑戦者、改革者でありたい。
- 「図書館」ということに、こだわらない方がいいのかなと思いました。
- 小さいことでも、自分のできることから始めようと思う。
- 消極的な考えが多かったのですが、小さなことからやっ払いこう！という気持ちになりました。
- 交渉力を見つけ実践に向けて動いていこうと思った。
- まず飲み会から、ということからがスタートしやすかったです。
- まずはとっかかりをつかみたい。
- 気持ちはかなり高まったのですが、1カ月を乗り切れるかが心配です。
- できない理由ではなく、できることを考えることが必要。
- このままではいけないとの思いはあったが、実際に動いたり勉強していなかった事に気づいた。問題は何か、では何をすればいいか、次に続けていくようにしたい。
- 司書同士のメーリングリストなど実現すれば職場の悩みがかなり減ると思うので、今日のご縁をきっかけにぜひつながりを持ちたいと思います。
- 現在、どうしたらいいのかわからない問題について、解決案が見つからなかったため。
- アイデアを出すのは楽しいことだと改めて思ったから。
- グループの話しの中で、ぜひやってみたい企画があったので、今後連絡をとり合いたいと思っています。

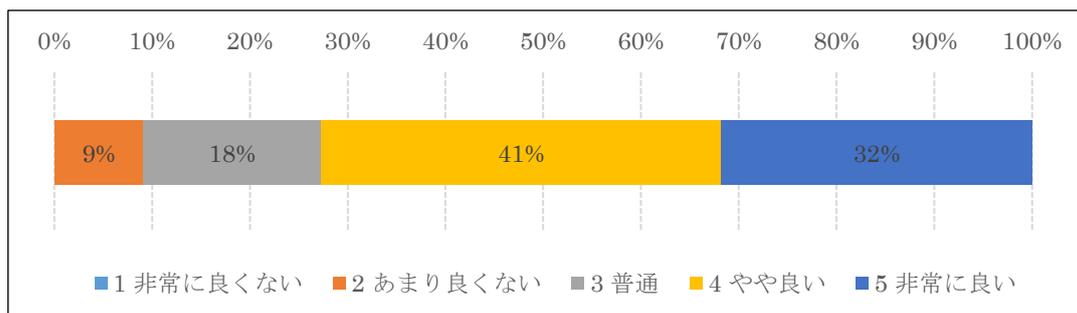
Q4. 説明はわかりやすかったですか？

(満足度評価：5 点満点)・・・平均 4.41



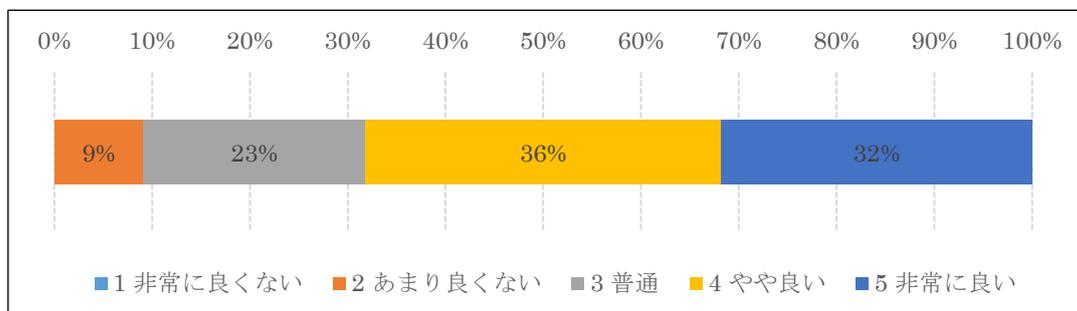
Q5. スライドショーは見やすかったですか？

(満足度評価：5 点満点)・・・平均 3.95



Q6. 配付資料は見やすかったですか？

(満足度評価：5 点満点)・・・平均 3.91



Q7. もっと詳しく聞きたかった点はどういう点ですか？

- グループワークにもう少し時間があれば良かった。
- リザーブブックについて
- 先生方への広報（アピール）方法
- 色々ありすぎて…
- パスファインダーなど、他の講演会でされた内容
- 「図書館員という職業」を聞きたかったです。
- 名刺の話
- 名刺のデザインの所と、味方づくりの方法
- ワークショップで作成したものに対する仁上先生の感想、アドバイスが聞きたかった。
- デザインについて興味があります。
- 図書館PRの事例など
- 名刺の改善点
- 不可能を可能にした事例とモチベーションの維持のしかた
- シラバス図書、リザーブ図書について
- ブランディングについて
- 名刺
- 大学図書館と公共図書館の結びつきについて。効果的な図書館広報誌とはどのようなものか。
- アンケートの結果
- 改善の過程の実例（昔は〇〇だったが、今はこうなった）
- 実際に即実施できる広報や企画など、各大学図書館や公立図書館の状況を知りたかったです。

Q8. 講師へのご要望・ご助言など

- グループワークが楽しく学べて勉強になりました。
- 楽しい研修会でした。ありがとうございました。
- 貴重なお話や話題提供ありがとうございました。話が面白すぎました。
- ありがとうございました。
- 本当にありがとうございました。
- 話が楽しく、あっという間の研修でした。
- とても濃い内容でした。先生がおっしゃったように、1日では難しいです。また他の研修にも参加したいです。
- また講演を聞けることを楽しみにしています。
- 愛媛での飲み会（→勉強会）のネーミングをぜひご提案いただきたいです。
- 情報をたくさん教えて頂きありがとうございます。チェックします。
- とても楽しかったです（最初は緊張してしまいました）。サラちゃんはいつかワカメを家族として認め攻撃しなくなるのか知りたいです。
- ぜひ高知でも講演をお願いします。
- イントロダクションをもう少し短くしたら、メリハリがついてよかったですと思います。ご自身のPR。
- スライドは、まとめていただければ必要な情報を受けとりやすかったです。
- 先生のHPなど、今後チェックさせていただき、パワーをもらいたいと思います。

【2】公立大学協会図書館協議会中国四国地区協議会研修会について

Q9. ご意見、ご要望などがあればご記入ください

- 丸1日の日程でもよかったのではないかと、思うくらいあっという間の研修だった。
- とてもパワフルで聞いていると元気の出てくるような研修座学、また実践で実際にやる気の出るワークショップでした。
- 加盟館以外の館にも研修の呼びかけを続けてもらえると助かります。
- 運営おつかれさまでした。ぜひ1か月後、6か月後のフォロー、1年後の報告会を企画してください。
- 準備大変お疲れ様でした。
- いろいろありがとうございました。公立大学図書館や公立図書館の皆さまとの交流の機会ができました。

(記録：泉(愛媛県立医療技術大学図書館)・校正：仁上/2016.10.19)